



まちづくり情報特派員特集

テーマ「放課後子ども教室」

『放課後子ども教室』というプログラムをご存知ですか？町内の小学校で実施されている『放課後子ども教室』の現場を訪問して、お話を伺ってきました。

こうした子どもたちを見守るのが、「放課後子ども教室」のスタッフの皆さんです。各小学校に「コーディネーター」と呼ばれるまとめ役の方が1名ずつと、「サポーター」と呼ばれる方々がいます。皆さん開成町にお住まいです。子どもの遊びを見守ったり、宿題をみたり、工作や絵画を手伝ったりと、活発に活動されています。

いっしょに放課後をすごしませんか？



「私は子どもが好きなので、子どもたちと関わることができると、この仕事をしたいです。なんだか若返るようで楽しいです。ここで知り合った子どもたちが、街で私を見かけると声をかけてくれたりします。何気ないことですが、『この活動をやっててよかった』と思える瞬間です」

「取材後記」
放課後子ども教室のような活動は、全国の全ての学校にあるわけではないそうです。開成町の子どもたちは、放課後も安心・安全に過ごすことができるこうした居場所があって、見守ってくださる愛情深いスタッフの方々がいて、本当にラッキーだな～と思いつつ、小学校を後にしました。
まちづくり情報特派員 和田智代

【放課後子ども教室って？】
放課後子ども教室とは、毎週水曜日の授業終了後、15時～17時（秋冬期は16時まで）の間、各小学校で、空き教室や体育館、グラウンドを利用して、子どもたちが自由に遊んだり、宿題をしたりする先進的なプログラムのことです。訪れた日も、子どもたちは教室で工作や絵画を楽しみ、体育館やグラウンドで思いっきり身体を動かしていました。

【放課後子ども教室を支える皆さん】
開成小学校で放課後子ども教室のコーディネーターとして長年活躍しておられる遠藤いずずさんに伺いました。

「私は子どもが好きなので、子どもたちと関わることができると、この仕事をしたいです。なんだか若返るようで楽しいです。ここで知り合った子どもたちが、街で私を見かけると声をかけてくれたりします。何気ないことですが、『この活動をやっててよかった』と思える瞬間です」

募集集中！
●放課後子ども教室に参加しよう！
●あなたもサポーターになりませんか？
子ども・子育て支援室 ☎84-0328



『あじさい塾』開催中！

郷土に誇りを持つ子どもたちを育むためには、地域の力は欠かせません。町では、地域の皆さんと協働で子どもたちの道徳心の向上、自主的な学習意欲の向上等を図るため、平成28年度からあじさい塾（土曜学校）を開校しています。

6/25



「おいしいぞ！足柄茶」

12/17



「おいしいな！手作りかまぼこ」

1/14



「電池をつくろう」

開成南小学校5年 原田 淳平 さん

12/3



「角凧を作ろう！」



開成南小学校6年 伊藤 ゆりあ さん

私は、あじさい塾に参加していろいろなことを学ぶことができ、興味や関心をもつことができました。特に「角凧を作ろう！」が心に残っています。角凧を作るのにとっても時間がかかり諦めて作るのをやめたいと思った時もありましたが、自分が作りたと思う角凧を作ることができ、とてもよい機会だったと思います。

あじさい塾に参加して、ぼくの世界観が広がりました。学校では習っていない事や、物作りなどが分かって、とても良い勉強になりました。角凧作りは、とても難しかったけど、自分の凧が空に上がるのは、とても感動的でした。他にも昔ながらの遊びを知りたいと思いました。これからも、いろいろな体験をして、ぼくの世界を広げたいです。

未来を担う子どもたちのために
町の子どもたちには、様々な学習・体験を通じて「自ら考え、行動し、成すべきことをやり遂げる」ための学力と体力と道徳心を持ってほしいと願っています。そのためには、教育の充実が不可欠であり、開成町ならではの魅力ある教育を「オール開成」で推進していくことが重要です。子どもたちが、未来に夢と希望を持ち、これからの社会でいきいきと活躍できるように、学校・家庭・地域が一体となって、未来を担う子どもたちを全町民で育てていきたいと思います。



町長 府川 裕一